

## 茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより


### 2008年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 77 番)

神は、そのひとり子をたまわったほどに、この世を愛してくださった。  
それは、み子をしんじるものが、ひとりもほろびないで、えいえんの  
いのちをえるためである。神が、み子を世につかわされたのは、世を  
さばくためではなく、み子によって、この世がすくわれるためである。

(口語訳)

ヨハネによる福音書 3 章 16 ~ 17 節

2008 年は 3 月 23 日がイースターでした。教会学校では毎年、朝 8 時から朝食会を行っています。イースターエッグを探して、ウサギ・パンとコーンスープにイチゴの朝食を参加者全員で頂きます。今回は当日の様子を中・高科担当の大木怜子先生がレポートいたします。

*Happy*  *Faster!*

### 2008 年 CS イースター朝食会レポート

大木怜子 記

#### *Spring comes with Easter.*

この米国の諺どおり、今年の早いタイミングのイースターに大急ぎで間に合わせるかのように、厳寒の 2 月から、うららかな 3 月へと気温が上がっていったそんな中、春を待ちわびた幼稚科、1・2 年生のお友達のかわいらしい卵の壁飾り作りから準備は始まりました。

イースター前日。春休みになったジュニアの子供たちと卒業・入学お祝い会を兼ねた“ジュニア交わり会”を開きました。その始めに、みんなで明日のため



の卵150個を茹でてラッピングしたり、礼拝堂の壁を飾りつけたりしました。毎年、ユニケの会メンバーで“ちゃっちゃ”とやってしまう作業が、子供たちとやると、楽しい創作

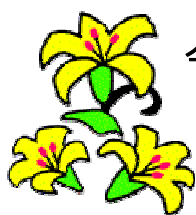


のひとつであり、イースターを迎える喜びの奉仕の場となりました。ちょうどその日は、小集会室の耐震作業の真っ盛りで、配線や工具が散乱し、さながら工事現場の真っ只中でしたが、心配したほどのことなくできました。さすがにジュニアは大人です！

イースターの朝です。まさに、Spring comes with Easter!の、うららかな日差しの中、まず、森本校長先生から例年どおりのイースターのお話を聞きました。毎年同じお話なのですが、なぜか、毎年新鮮に聞こえます（^^;）

いよいよ朝食会です。みんなで探した卵、うさぎパン、コーンスープ、苺と紅茶。みんなの笑顔と降り注ぐ朝の日差しも、ご馳走です。みんなパンもスープもおかわりしました。大人子供たち合わせて27人の参加でした。

こうして、今年度2回目のイースター朝食会は楽しく終わりました。



今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。

コリント 15:20

PS. 昨日はあんなにぐちゃぐちゃだった小集会室も、まるで何事もなかったようにすまし顔でいるのにも驚きました！



## 編集後記



今回は大変にぎやかに行われたイースター朝食会のレポートをご紹介します。掲載写真はホームページ管理人の稲津兄に早朝からお願いしました。今年度も5月にはビーチプレイデイがあります。7月には楽しい夏期学校も予定されています。幼稚科から成人科まで、毎週日曜日の9時から皆さまの参加をお待ちしております（森本）。(March,28<sup>th</sup>. 2008 Updated)